

歴史文化遺産活用方針策定委託業務

評価基準

評価項目		評価ポイント	配点
企業の評価	企業の実績	過去10年以内の「文化財史跡に関する三次元計測」もしくは「VRコンテンツによるプレゼンテーション用データの作成」に係る実績	5
	企業の認証規格	「情報セキュリティマネジメント」もしくは「プライバシーマーク」の企業認証規格の有無	5
実施体制	業務実施体制	業務実施体制、地域精通度のよる実績、高度資格の有無等	5
	調査技術者の資格	高度資格の有無等	5
業務計画書 ・実施方針 ・業務手順 ・工程計画 ・目標設定	理解度	業務の目的や仕様書の要件等を十分に理解している場合に優位に評価する	20
	実施手順	業務の実施手順、工程が現実的かつ妥当性の高い場合に優位に評価	
	工程表	業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性・実現性が高い場合に評価する	
	目標設定	設定された目標が根拠を含め明確であり、妥当性が高い場合に優位に評価する	
特定テーマ1 三次元測量データを利用したシステムの構築について	的確性	三次元測量データを利用したシステムの構築に関する提案が、うるま市の歴史文化遺産の保護及び利活用において将来的に有効な提案である場合に優位に評価する。	20
	実現性	提案内容に説得力がある場合、提案内容を裏付ける類似実績等が明示されている場合に優位に評価する	
	汎用性	提案する閲覧システムが他分野にわたり利活用できる提案がなされている場合に優位に評価する。	
特定テーマ2 歴史文化遺産PR動画制作について	的確性	三次元測量したデータを利用し、沖縄の歴史性を反映した動画の提案がなされている場合に優位に評価する	15
	実現性	提案内容に説得力がある場合、提案内容を裏付ける類似実績等が明示されている場合に優位に評価する	
	独創性	専門的な知見に基づく新たな提案や高度の検討・解析方法の提案がある場合に優位に評価する	
特定テーマ3 歴史文化遺産の活用方	的確性	うるま市文化財保存活用地域計画（令和6年策定）に示す将来像に沿った提案がなされている場合に優位に評価する	25

針について	実現性	提案内容に説得力がある場合、提案内容を裏付ける類似実績等が明示されている場合に優位に評価する	
	具体性	提案内容に説得力がある場合、提案内容を裏付ける類似業務等が明示されている場合に優位に評価する	
合計			100

提案者の順位の決定及び最低基準点の設定

- 1 提出された企画提案書等を評価基準に基づいて評価し、委員の採点の結果、最も点数が低い提案者の順位点を1点とし、順位が1つ上がるごとに1点ずつ加点し、最も点数が高い提案者にはさらにもう1点加点する。

(例：提案者が3者の場合、1位を「4点」、次点を「2点」、3位を「1点」とする。)

- 2 順位点が同点になった場合は、次の方法により順位を決定する。
 - (1) 評価項目「特定テーマ3 歴史文化遺産の活用方針について」の点数が高い者を上位とする。
 - (2) (1) も同点の場合は、評価項目「特定テーマ1 三次元測量データを利用したシステムの構築について」が高い者を上位とする。

- 3 最低基準点の設定

最低基準点は、各委員の評価点の平均点60点とする。なお、60点に満たない場合は応募が1社であっても選定を見送る。